

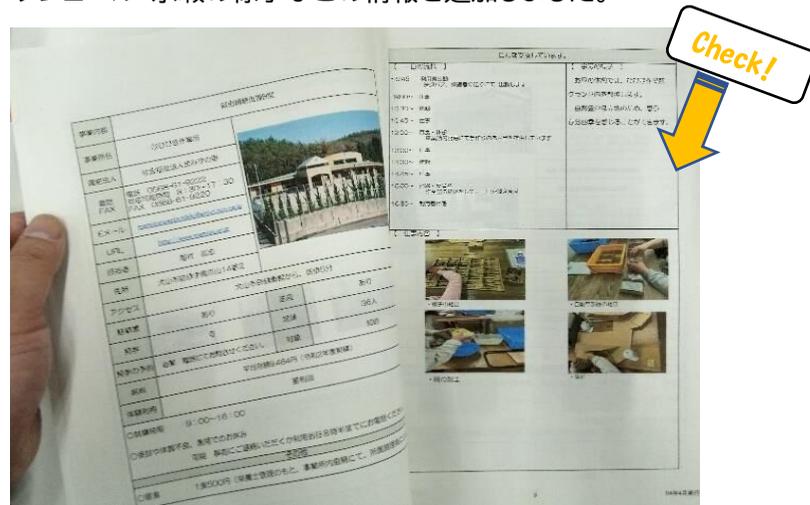
令和4年度 犬山市障害者自立支援協議会 定例部会 活動報告

① はたらく・過ごすガイドブック

《目的》

福祉的就労を考えている子どもや保護者など向けにガイドブックを作成。(令和3年度)

・令和4年1月のワーキングで内容についての検討をおこない、より見やすくなるように見開きにして、事業所での作業風景・1日のスケジュール・余暇の様子などの情報を追加しました。



② 【ひだまり】作品展

《目的》

障がいのある方の生涯学習や余暇活動の充実の機会として作品展を開催

- 令和5年2月18日(土)・19日(日)10時～15時
- 市民交流センターフロイデ
- 《作品数》69作品・《来場者数》198人

・本年度は、作品展準備会を開催し、企画段階から当事者に主体的に関わっていただきました。
 《作品展準備会メンバー》
 市内地域活動支援センター、障害者団体の当事者とサポーター職員 7名

《作品展準備会》5回開催
 開催場所、開催時期、作品展のチラシ、当日の進め方、飾りつけのレイアウトなどについて話し合いました。

《作品展のチラシ》
 ・作品募集チラシ(別添1)
 イラストを当事者の方に作成していただきました。

・作品展開催チラシ(別添2)
 名古屋経済大学の学生に福祉啓蒙を目的にチラシの作成していただきました。



③ 就労と生活を支える仲間のつどい

《目的》

役職を担っていない職員の方を対象に、日頃の支援についての困り事の共有や親睦を深める目的で座談会を開催。

令和5年度活動予定

- ① 「はたらく・過ごすガイドブック」令和5年度版発行
- ② ひだまり作品展の開催
- ③ 就労と生活を支える仲間のつどい

令和4年度 犬山市障害者自立支援協議会 権利擁護部会 活動報告

【1】「犬山市障害者自立支援協議会紹介のパネル」

①産業振興祭 10月8日(土)・9日(日) 南部公民館

・パネルの表示で「発達障害」の名称に違和感を感じた。脳の病気なのに、発達障害という言い方で正しく理解してもらえないのではないかと？

【2】「統合失調症について」VR体験(ヤンセンファーマ株式会社提供)

・あたり前と思っている健康に感謝したい。
・初めて統合失調症の体験した。幻聴が見える事で困っている人が居る事を知りました。多くの人が理解した社会になるよう広めたい。
体験を通じて、日頃の日常生活で幻聴・幻覚が起きると思うととても怖くなった。本人にしか分からない事なので、周りの理解が大切な症状だと思った。周りのサポートがあれば助けてあげる事もできるかもしれないと思えた。



【3】外見ではわからない、他者から理解を得られにくい発達障害による「感覚の不自由さ体験」 ※手袋をつけて折り紙に挑戦して頂きました。

・軍手をする事で自分の思うところに指先が届かず、歯がゆい思いがしました。見た目だけでは分からない障害を持った方への配慮が自然にできる社会につながると良いなと思った。
・”感覚の不自由”という言葉が新鮮でした。外見から見える不自由ではなく、感覚に不自由さがあるなんて。その人にしか分からない不自由さがある

②虐待防止研修会 11月17日(木) 犬山市役所205会議室

【演題】障がいのある人の人権と障害者虐待 【講師】尾張北部圏域地域アドバイザー 鈴木 康仁 氏

【参加者】・障害児通所支援事業所:17名/相談支援事業所:3名/障害福祉サービス提供事業所:5名/その他:2名



感想

課題

虐待と思った時は速やかに通報することが大切だと知った。

職員の中で相談や悩みを打ち明けられる関係を築き、1人で抱えずチームで取り組んでいくことが大事。支援についてチームでの対応が大切。

相談、報告しやすい環境作りをしていくことが虐待防止にもつながる。

専門職としての自覚、資質向上につなげる研修の重要性を感じた。

相手の方が障害があっても悪意はなくやっている行動だとしても場合によっては職員にもガマンの限界はあると思う。

そんな時は一呼吸おけるような環境作り、チームワークがとても重要。



・職員へのフォローアップ必要。他部会との連携。定例部会「就労と生活を支える仲間のつどい」のワーキングへ。

※権利擁護部会での研修会開催の趣旨について。

・過去の権利擁護部会活動において、障害者差別解消法に則り、当事者への支援や配慮について合意形成ができているのか？について話合われた。一方的な配慮は当事者の権利侵害に当たる可能性もある事を意識する必要がある。

・令和4年度以降、障害福祉サービス等報酬改定によって事業所運営規定に「権利擁護・虐待防止」の研修実施を義務化。

→虐待の危険性を高める要因について共有できる場が必要

令和5年度活動予定

・市民の方々が障害理解を深められるよう、地域に向けての啓蒙・周知活動を継続していく。
・当事者の権利擁護について、事業所等の専門職や地域に向けての研修会実施。

令和4年度 犬山市障害者自立支援協議会 子ども部会 活動報告

特別支援教育研修会

特別支援に関わる関係機関の連携を深める。

両日とも対面での開催実施。
夏季研修会のみコロナ感染拡大防止対策として
座談会を中止。

◇【夏季研修会】 令和4年7月29日(金) 場所:市役所205会議室

・テーマ:「学年をつなぎ、学校をつなぎ、地域をつないで、子どもたちの育ちを支える」

・内容:①演題:教育と福祉の連携について

講師:厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児発達障害者支援室発達障害対策専門官
加藤 永歳 氏

②演題:犬山市個別の教育支援計画「あゆみ」について

講師:犬山市教育委員会 指導主事 加藤 浩子 氏

・参加人数: 48名

◇【冬季研修会】 令和4年12月14日(火) 場所:エナジーサポートアリーナ多目的室2階

・テーマ:「犬山市の発達支援を学ぶ」

・内容:①演題:地域における放課後等デイサービスの役割について

講師:児童発達支援センター喜璃夢 センター長 瀧川 由紀子 氏

②意見交換会:教員との意見交換会

・参加人数:45名

(小学校:16名・中学校:7名・相談支援事業所:4名・障害児通所支援事業所:8名・事務局:6名)

【夏季研修会会場の様子】



【冬季研修会会場の様子】



◇感想(一部抜粋)

・学校現場職だけでなく事業所関係の方と顔つなぎ
ができる、こうした機会は貴重だと思います。
・学校だけでなく協力して子どもを育てる機関が
色々あることがわかった。
・情報交換ができ、顔を見て話ができることが本当に
大切だと感じた。

◇まとめ

・教員の異動もあり、参加者が毎回違うため研修内容
も昨年度と同様の内容だが、内容について好評な意
見が多数。座談会についても教員との貴重な交流の
場との意見も多数あった。

障害児通所支援事業所における質の向上についての取り組み

◇研修会

・日時:令和4年10月27日(木)

・演題:障害児通所支援事業所のサービスの質の向上のために必要な取り組みとは
～令和元年度厚生労働科学研究における外部評価の実施とその検証を通して～

・講師:福島学院大学 福祉学部福祉心理学科 教授 内山 登紀夫 氏

・方法:オンライン

◇感想(一部抜粋)

・評価機関の物差しが現場からズレることはやむを得ないと思っていましたが、先生
達の評価は当事者目線で構築されていた項目が多かったので評価に対する概念が
変わる良い機会になりました。

・具体的な評価基準を学ぶことで普段できているつもりの方が本当にできている
のか自分の中でも見返すことができました。

◇第三者による外部評価

・日時:令和5年2月22日(水)

・実施事業所:児童発達支援センター喜璃夢

・内容:厚生労働科学研究(障害者政策総合研究事業)によって開発された
「こどもの発達支援のための外部評価」を用いた第三者による評価の実施

・方法:該当事業所への訪問による職員・保護者への聞き取り、個別支援計画
書の確認、物理的環境面及び実際の支援場面の観察等にて実施

・評価者:福島学院大学 福祉学部福祉心理学科 教授 内山 登紀夫 氏
帝京大学 文学部心理学科 准教授 稲田 尚子 氏

令和4年度 犬山市障害者自立支援協議会 子ども部会 活動報告

医療的ケア児ワーキングチーム

◇目的

・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が制定され国・地方公共団体等の責務が明文化。まずは医療的ケア児が抱えている課題及び現状等を把握することを初期の目的として開催する。

◇ワーキングチーム設置

- ・医療的ケア児支援ワーキングチーム設置に向けた事前打ち合わせ会実施:6月24日(金)/7月13日(木)
- ・第一回医療的ケア児支援のためのワーキングチーム開催:11月9日(水)
- ・第二回医療的ケア児支援のためのワーキングチーム開催:12月23日(金)
- ・第三回医療的ケア児支援のためのワーキングチーム開催:3月27日(月)



◇構成員(関係機関14か所)

・22名

◇アンケート調査実施

- ・市内に暮らす医療的ケア児及びそのご家族の状況を把握し抱えている課題を明確化するために実態調査を実施
- ・関係機関31か所へアンケートを配布(調査票113通配布)



子ども部会ワーキンググループ

◇目的

・若手職員の交流の場として開催。現場の職員が日頃のことを相談できる機会を目的に。

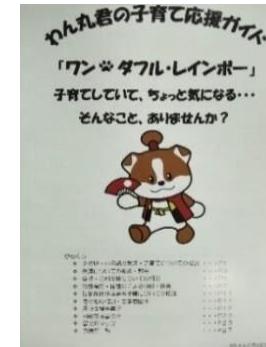
◇活動内容

- ・今年度は6回開催。
- ・主にスポーツ交流会について話し合い及び準備を実施
- ※8月25日(木)コロナ感染拡大防止対策にて3月開催へ延期。

◇スポーツ交流会

- ・日時:3月29日(水)
- ・場所:エナジーサポートアリーナ
- ・種目:玉入れ
パンキャッチ競争
まわせまわせゲーム

ワンダフルレインボー



◇目的

・『各機関で行っている相談を分かりやすくまとめ真に活用できるものを作ろう!』という目的で作成しております。

◇令和4年6月1日版を発行

情報を更新しました。
市内の事業所・小中学校・小牧特別支援学校・一宮東特別支援学校へ配布しています。

令和5年度活動予定

- ・障害児通所支援事業所における質の向上についての取り組み
- ・子ども部会ワーキンググループの開催
- ・特別支援教育研修会の継続参加
- ・医療的ケア児支援ワーキングチームの開催
- ・ワンダフルレインボーの発行

令和4年度 犬山市障害者自立支援協議会 相談支援事業所連絡会 活動報告

月	日	活動内容	月	日	活動内容
		意見交換			意見交換
4月	19日	<p>《今年度の取り組みについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児のケースでの事例検討会を行いたい →”性”の相談に対応できる勉強会や研修会を受けたい。 ・医療的ケア児の加算要件についても勉強したい。 →医療的ケア児と重症児心身障害者における加算関係。 ・外国籍の当事者のケース共有もおこなっていきたい。 →支援者が通訳を通じて、外学籍の当事者とのコミュニケーションを図る場合、支援者でなく、通訳者の意図が入った意味で伝わってしまう。正確・的確な通訳の必要性。 	7月	12日	<p>《4月の連絡会での活動内容(案)についての話し合い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害年金の申請時期について →時期は未定。開催方法として外部講師を招いての勉強会実施とする。 ・性に関するテーマについて。 →「平成30年度～の子ども部会ワーキングの思春期課題でどんな話し合いをしていたかの報告・共有。
		事例検討会			勉強会
5月	17日	<p>《事例検討会実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の相談支援事業所連絡会で行われてきた「事例提供」の持ち回り。児童に関する事例。 →事例を通じて得られた意見 ・障害年金について知りたい。障害年金の概要や申請時期について知りたい。 	8月		<p>《特別支援教育夏季研修会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児発達障害者支援室 発達障害対策専門官 加藤 永歳 氏 ・内容：教育と福祉の連携について 「学年をつなぎ、学校をつなぎ、地域をつないで、子どもたちの育ちを支える」 ・講師：犬山市教育委員会 指導主事 加藤 浩子 氏 ・内容：犬山市個別の教育支援計画「あゆみ」について <p>○アンケート結果(相談員の回答 一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある子どもについて、目の前の支援の事に追われてしまう。将来の就労も見据えて、地域の支援システムも知った上で支援が行えたら良いと思った。 ・子どもが事業所で見せる姿、学校で見せる姿、家庭での姿が全く違う面があるので教育、福祉、家庭が同じ場で情報交換できる場良いと思った。
		勉強会			勉強会
6月	14日	<p>《医療的ケア児と重症児心身障害者における加算関係について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：福祉課請求業務担当 ・内容：支給決定要件と重複適用要件に関する優劣関係、報酬関係について説明。 	9月	26日	<p>《野中式事例検討会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：野中式ケアマネジメント研究会理事 (半田市社会福祉協議会事務局次長)前山憲一 氏 ・事例提供者：基幹相談支援センター

10月	11日	意見交換
		<p>○外国籍の当事者への支援についての課題について情報共有 《コミュニケーション・文化の違い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度の細かいニュアンスを伝える事が難しい。 ・日本と外国でのオムツが外れる時期の違い・療育の考え方の違い。保健センターと保護者との思いが一致しない事もある。 <p>《制度への理解》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとって児童福祉法のサービスと児童クラブや日本語教室と同等な感覚の方もいる。 <p>《支援について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通訳やアプリケーションで通訳しても専門用語がしっかり訳されていない。 <p>《地域アドバイザーより》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公のサービスと有志団体のサービスを組み合わせて課題解決につなげては？
11月	8日	意見交換
		<p>《性に関するテーマの課題について情報共有》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談もあった。日本人としてタブー視されている。同性・異性・年齢も含めて支援者と当事者との関係性も支援に影響する。 <p>→禁止(制限)ではなく問題行動と結びついていない事が問題。行動制限では人権侵害。意思決定が行える配慮した働きかけとしての支援が必要。</p>
		<p>《相談支援専門員より》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員同士や事業所間で”情報共有”の行いたいと希望あり。
12月	13日	勉強会
		<ul style="list-style-type: none"> ・講師:福祉課職員 ・内容:「避難行動要支援者計画についての説明」 ・相談員向けに「避難行動要支援者計画」の様式と概要を説明。
	14日	<p>《特別支援教育冬季研修会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師:ぼんぼこネットワーク 瀧川由紀子 氏 ・内容:「犬山市の発達支援を学ぶ」 ・小中学校教諭と相談支援専門員・児童通所支援事業所職員と座談会実施。 <p>○アンケート結果(相談員の回答 一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、事業所、学校で統一や一元化する事によって最善の方法をとる事が大切。 ・学校側の葛藤、困り事を直接事業所の先生に質問してもらおうとここで、共有・アドバイス等ができた。見学や連絡を取り合い連携を図って行けるのではと感じた。

1月	17日	勉強会	
		<p>《障害年金についての勉強会》</p> <p>※5月に要望があった障害年金についての勉強会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師:一宮年金事務所 中田真由美 様 ・内容:「障害年金申請時期や手続き方法について」 	
		<p>○アンケート結果(一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害年金は難しいと感じていたが基本的な部分から講義を受けて制度の理解が深まった。 	
2月	14日	勉強会	意見交換
		<ul style="list-style-type: none"> ・講師:株式会社ヤンセンファーマ 宮地一宏 氏 ・内容:精神薬についての勉強会 <p>○アンケート結果(一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容は概ね理解でき今後の支援に役立つとのご意見。 ・統合失調症について、具体的な症状の紹介や動画での体験がありあ文面では分らない感覚的な部分でも理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の活動について意見聴取。 ・具体的な活動案は3月の協議会で。
3月	14日	意見交換	
		<ul style="list-style-type: none"> ・野中式事例検討を用いた事例検討会の開催 ・ペアレントトレーニングについての研修会を子ども部会と合同で開催。 ・性の勉強会 ・外国籍の方への支援方法について 	

令和4年度犬山市障害者自立支援協議会活動報告

○全体会

項目	開催日	内容
第1回	令和4年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度犬山市障害者自立支援協議会の活動報告及び令和4年度活動計画について ・障害者虐待等の報告について ・第4次犬山市障害者基本計画等に伴うアンケートについて ・令和3年度犬山市障害者基幹相談支援センター事業報告について ・地域共生社会の実現に向けた包括的多様なモデル事業について
第2回	令和4年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次犬山市障害者基本計画の進捗状況について ・第4次犬山市障害者基本計画等の策定に伴うアンケートについて ・令和4年度障害者基幹相談支援センター相談件数(4月～7月分)報告 ・文部科学省による障害者の学校卒業後の生涯学習支援政策について
第3回	令和5年3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度犬山市障害者自立支援協議会の活動報告及び令和5年度活動計画について ・障害者虐待等の報告について ・第4次犬山市障害者基本計画等の策定に伴うアンケート結果について ・令和4年度犬山市障害者基幹相談支援センター事業報告について(令和4年4月～令和5年1月分における相談件数) ・地域共生社会の実現に向けた包括的多様なモデル事業報告について

○定例部会

項目	開催日	内容
ガイドブック	令和4年 4月	・「はたらく・過ごすガイドブック」令和4年度版の発行
作品展準備会	令和4年 9月30日 令和4年10月25日 令和4年12月16日 令和5年 1月10日 令和5年 3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の生涯学習や余暇活動の充実の機会として「ひだまり作品展」開催に向け、当事者からも参画してもらい準備会を開催 ・作品展名称:ひだまり作品展(令和3年度公募にて決定)
作品展	令和5年 2月18日～ 19日	<ul style="list-style-type: none"> ・会場:市民交流センターフロイデ 201 会議室にて開催 ・来場者数:198名
就労・生活を支える仲間のつどい	令和5年 3月22日	・市内就労系事業所の若手職員等を対象に座談会を開催

○専門部会「権利擁護部会」

項目	開催日	内容
第19回犬山市産業振興祭 わいわい犬山フェスティバル	令和4年10月8日～9日	・犬山市障害者自立協議会のパネル紹介 ・統合失調症についてのVR体験 (提供:ヤンセンファーマ株式会社) ・軍手を用いた感覚体験
障害者虐待防止研修会	令和4年11月17日	【講演】 「障がい者虐待防止研修～障がいのある人の人権と障害者虐待」 【講師】 尾張北部圏域地域アドバイザー 鈴木 康仁 氏

○専門部会「子ども部会」

	開催日	内容
ワーキンググループ	令和4年 4月21日 令和4年 5月19日 令和4年 6月16日 令和4年 7月14日 令和5年 1月19日 令和5年 2月16日 令和5年 3月16日	・スポーツ交流会について、研修会への参加等
スポーツ交流会	令和5年 3月29日	・エナジーサポートアリーナにて開催予定
医療的ケア児支援のためのワーキングチーム	令和4年11月 9日 令和4年12月23日 令和5年 3月27日	・犬山市における医療的ケア児とその家族の実態把握に関するアンケート調査の検討及び実施
研修会	令和4年 7月29日 令和4年12月14日	・特別支援教育研修会への参加(教育と福祉の連携)
	令和4年10月27日	【講演】 「障害児通所支援事業所のサービスの質の向上のために必要な取り組みとは～令和元年度厚生労働科学研究における外部評価の実施とその検証を通して～」 【講師】 福島学院大学 福祉学部福祉心理学科 教授 内山 登紀夫 氏
第三者による障害児通所支援事業所の外部評価	令和5年 2月22日	障害児通所支援事業所における第三者による外部評価の試行的実施 【実施事業所】 ・NPO 法人ぽんぽこネットワーク児童発達支援センター 喜璃夢 【評価者】 福島学院大学 福祉学部福祉心理学科 教授 内山 登紀夫氏 帝京大学 文学部心理学科 准教授 稲田 尚子 氏
ワンダフル・レインボー改訂版発行(令和4年6月)		

○運営会議の開催:原則、毎月第1水曜日に開催(12回開催)

○相談支援事業所連絡会の開催:原則、毎月第2火曜日に開催(11回開催)